

2007年度 土木学会 建設マネジメント委員会

研究成果発表会 事前配布資料

建設サービスの高度化時代における技術公務員の役割と責務について

平成19年8月

技術公務員（インハウスエンジニア）の役割と責務研究小委員会

2007 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会
技術公務員の役割と責務研究小委員会 事前配布資料

1. 研究目的

近年、品確法の施行や独禁法の改正、さらに社会や国民から公共事業に対する期待が大きく変化してきている。そのために、公共事業の発注者である技術公務員の役割と責務も大きく変化し、今後、それらはさらに増大するものと考えられる。また一部では技術公務員不要論や民営化の議論がなされているが、社会基盤の効率的な整備や適切な維持管理を担う技術公務員の役割と責務を鑑みた場合、安易に技術公務員不要論等を言うことはできない。そのため、技術公務員の役割等を積極的に国民に情報公開、情報提供し、理解を求めていくことが大切と考え、本小委員会では国民から期待される技術公務員の役割と責務等について研究する。

2. 成果概要

平成 18 年度の活動内容としては、研究の 2 年度目ということもあり開催日ごとに特定の具体的課題テーマを決め、各委員からの意見聴取・質疑応答を行うことで、各委員が抱える問題点の抽出等、具体的な課題に対する議論を行う。また地方自治体の現役職員やOBの方を講師と招き、地方における技術公務員の取組について小委員会にて講演会等を行っている。

〔具体的課題テーマ〕

- 説明責任について
- 役割分担について（官と民、経営者・管理職と技師など）
- 人材教育について（OJTを通じた技術者教育・研修など）
- 品質確保と入札・契約制度について
- 品質確保と監督・検査について
- 広報の方法について

〔講演会等テーマ〕

- 「大型公共事業における発注者のコスト管理」
- 「地方自治体の組織マネジメントのあり方」

平成 19 年度以降は引き続き特定課題に対し具体的な検討を進めるとともに、各委員から出された意見を集約して公共事業の発展、公共サービスの向上に寄与する技術公務員の役割と責務、そしてあるべき姿などを中間とりまとめとして作成に着手する予定である。

3. 委員構成

(平成 19 年 7 月末現在)

委員長	中村 一平	金沢工業大学
副委員長	伊藤 昌勝	(株) ドーコン
委員兼幹事	松田 千周	(株) 建設技術研究所
委員	19名	
オブザーバ	4名	

以上